

創立60周年記念誌



令和元年 6 月

 共同測量株式会社

《经营理念》

私たちは

人格の陶冶と健康に留意し

自己研鑽により積極的に技術の向上を目指して

豊富な経験を以て適正な利潤を上げ

仕事を通じて社会に貢献しつつ

会社の発展と従業員の幸福を追求して

調和のとれた発展を经营理念とする

社 訓

一、健康 私たちは、常に健康と安全に留意して
社運の繁栄を図ります。

二、誠実 私たちは、常に誠実に責任を以って
事に当たります。

三、技術 私たちは、常に努力して創意工夫を重ねて
技術の研鑽に励みます。

四、確実 私たちは、常に最善を尽くして迅速確実に
仕事を完結し、信頼の蓄積に励みます。

五、貢献 私たちは、常に適正な利潤を得つつ
社会に貢献します。



目 次

contents

■ 創立 60 周年を迎えて

代表取締役 吉原 清寿	1
-------------------	---

■ 祝 辞

衆議院議員 田所 嘉徳	2
-------------------	---

参議院議員 岡田 広	3
------------------	---

参議院議員 上月 良祐	4
-------------------	---

茨城県議会議員 加藤 明良	5
---------------------	---

水戸市長 高橋 靖	6
-----------------	---

■ 記念式典・祝賀会	7
------------------	---

■ 新聞掲載記事	11
----------------	----

■ 記念旅行	12
--------------	----

■ 年譜	14
------------	----

■ 青雲会の行事あれこれ	17
--------------------	----

■ 会社要覧	20
--------------	----

■ 近年の主な受注業務	21
-------------------	----

■ 編集後記	23
--------------	----



創立 60 周年を迎えて

代表取締役 吉原 清寿

弊社は令和元年6月26日で創立60周年を迎えました。昭和34年6月26日に誕生した共同測量株式会社が、平成を経て令和元年という記念の年に還暦を迎えました。改めて関係各位の暖かいご支援のお陰と感謝申し上げます。

昭和34年に水戸市裏南町、現在の南町2丁目の裏通りに「有限会社共同測量社」として誕生しました。当時は測量設計という業務は殆ど役所の中で直営で行っていたと聞いています。しかしその後、高度成長期を迎えて業務量が増えてきたこともあり、少しずつ民間に委託されるようになってきました。そういう状況をいち早く察知した、創立者である小林義治初代社長は、塙一郎氏、西連寺賢三氏の3人で、共同で測量会社を立ち上げました。共同という社名はここから来ているそうです。その後、水戸市大坂町（現在の梅香町）、そして千波町に本社を移して現在に至ります。その間、昭和41年に下館出張所、昭和48年に土浦出張所、昭和54年に両出張所を統合して学園出張所（後に営業所）を開設、平成18年に常陸太田営業所、平成19年にかすみがうら営業所、平成22年に那珂営業所、平成26年に石岡営業所、平成31年に笠間営業所を開設しました。しかし、この中で学園営業所、石岡営業所は閉鎖を余儀なくされ、現在は4営業所で活動しております。

そして各協会にも入会させていただき、公益社団法人茨城県測量・建設コンサルタント協会、一般社団法人茨城県建設コンサルタンツ協会、一般社団法人日本補償コンサルタント協会関東支部茨城県部会等で活動しております。

60年という歴史は決して平坦なものではありませんでした。楽しいことも辛いことも歴史のひとつですが、特に厳しい時代に意に反して去ることを余儀なくされ、弊社の肥やしになってくれた方々にはお詫びと感謝しかありません。こうした低迷期の苦しさ辛さを味わい今の共同測量があります。

おかげさまで60周年を迎えられ、元気に活動することが出来ているのも、起業者様のご指導はもとより、各協会、その他弊社を見守って下さった関係者の皆様のご指導ご鞭撻のお陰と感謝しております。

共同測量株式会社は、100年企業を目指してこれからも日々精進して参りますので宜しくお願い致します。



祝 辞

衆議院議員 田所 嘉徳

共同測量株式会社におかれましては、「令和」という新たな時代のスタートに創立 60 周年の大きな節目を迎えられましたことに、心よりお慶び申し上げます。

貴社は、昭和 34 年 6 月に設立されて以来、「顧客の信頼とニーズにこたえる」という経営方針のもと、品質向上への継続的な改善を通じて顧客満足度の向上に精力的に努められ、地域社会の発展のために貢献してこられたことに深く敬意を表します。

我が国は、戦後の復興期から高度経済成長を経て、バブル崩壊後の長期低迷の時代、そして現在、急激な人口減少の問題に直面しています。このように大きく時代が変化する中であって、常に社会の流れを読み、それに適切に対応する経営戦略を講じて、着実に実践しなければなりません。

貴社におかれましては、徹底した顧客第一主義を貫き、優れた技術力とバランスの取れた企画立案能力を活かして、時代の変化を乗り越えてきました。そして、道路や上下水道、橋梁、公園整備等の地域の発展に関わる多種多様なプロジェクトに参画され、多くの実績を残されたことは誠に素晴らしく、高く評価されるものであると思います。

近年、我が国は少子高齢化に伴う人口減少により社会構造が大きく変化しており、生産年齢人口の減少や、急激な労働力不足により、社会の活力が失われてしまうことが危惧されております。測量設計業界においても高齢化や人材不足が問題となっており、如何にして生産性の向上を図り、収益が確保できるようにするとともに、後継者が育つ環境をつくるかが、大きな課題となっています。

このような中、国会では本年 6 月に、平成 26 年に改正された「担い手 3 法」（「公共工事の品質確保の促進に関する法律」、「建設業法」、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」）が、これまでの 5 年間の成果を踏まえた上で、働き方改革促進による長時間労働の是正、生産性の向上など新たな課題に対応するために改正され、「新・担い手 3 法」として成立いたしました。特に、議員立法である品確法においては、これまでも調査・設計が公共工事の品質確保を図る上で重要な役割を果たすことが明記されていましたが、新たに測量等の調査及び設計が定義に追加され、広く同法の対象として位置付けられました。

測量設計業務においても、ICT の活用など先進的な技術の導入による、生産性の向上が求められます。その点、貴社におかれましては、これまでの多年に亘る測量設計技術の蓄積を生かすことにより、大きく発展するものと思います。豊かな新時代を拓くための社会資本の整備に、更に貢献されることを期待しております。

私自身も技術者であることから、皆さまの最大の理解者として、測量設計業界の更なる発展のために、出来るだけの協力をしたいと考えております。

創立 60 周年を契機として、吉原清寿社長のリーダーシップのもと、創業時から変わらぬ経営理念を貫き、社員一丸となって更なる飛躍を遂げられますとともに、皆様のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、お祝いのご挨拶とさせていただきます。



祝 辞

参議院議員 岡田 広

共同測量株式会社が創立 60 周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

昭和 34 年に有限会社として設立され、20 年後の株式会社への改組を経て、現在に至ります。60 年の長い歴史を紡いでこられたみなさまに敬意を表します。

業務の一つである測量設計業は私たちの生活に必要な不可欠であり、極めて精度の高い技術を要求されます。家を建てる場合に 1cm 測量を誤るだけでも、どれだけ安心・安全から遠ざかるかわかりません。物の位置関係を測ることで地図の作成や土地の状態調査がなされますが、これも 1cm でも誤った測量をすることで土地の境界線トラブルが起こるかもしれません。折しも会社創立の昭和 34 年は、土地建物の坪表記以外の分野でのメートル法完全実施がなされた年です。いまでも「尺」は日本人に根付いている単位ですから、会社を立ち上げたばかりの当時はメートルへの切り替えに相当な苦勞があったのではないのでしょうか。

日本の伝統芸能の一つである能(猿楽)を大成した世阿弥は伝書『花鏡』のなかで芸の奥義として「初心忘るべからず」という教えを記しています。世阿弥のいう「初心」とは、修行の各々の段階ごとの未熟さのことで、修行を始めた若いころの初心を忘れてはならない、技芸を極めた段階においても初心の芸を忘れてはならないとしています。未熟な頃の自分に思いを巡らせ、現在の自分を正しく認識するよう己を戒め、さらに上達しようとする向上心を持ち続けることが大事だと説いていると考えます。

共同測量株式会社における「初心」とは何でしょうか。会社の経営のなかで長らく変わらず大切にされていること、それは「顧客の信頼とニーズにこたえる」という品質方針にも表れているのだと思います。人は時が経つにつれて初心を忘れがちになってしまいます。場合によっては失敗や過ちを犯して初めて初心から遠ざかっている自分に気づくのかもしれません。それゆえ、自己を認識し絶えず自問自答しながら自分を戒めることで人は成長していくのだらうと思います。世阿弥の説く「初心忘るべからず」は能を極めるための奥義としてだけでなく、人生を豊かにする、人生を極めるための奥義であると考えます。これまでの 60 年の歩みを振り返り、国際化、多様化する社会を見据えたときに肝心要のキーワードは「初心」であります。

60 周年という節目をきっかけ・契機としまして、共同測量株式会社がいつそうの発展をされますこと、吉原清寿代表取締役を中心にみなさまの笑顔であふれる会社でありつづけますことを祈念し、お祝いのことばといたします。



共同測量株式会社 創立 60 周年によせて

参議院議員 上月 良祐

この度は、貴社創立 60 周年記念誌のご刊行誠におめでとうございます。

貴社は、昭和 34 年 6 月に水戸で創業されて以来 60 年間、高度経済成長期、バブル経済期のよう景気の良かった時代も、バブル崩壊後やリーマンショック後の混乱期にも変わらぬ経営理念のもと、地域の発展に尽くされてきました。順風満帆な時期ばかりではなく、幾多の困難を経営陣の皆様、社員の皆様の力で苦勞しながら乗り越えられてきたものと思料します。改めて敬意を表しますとともに深く感謝を申し上げます。

昨年 10 月の退任まで 1 年 2 ヶ月務めさせていただきました農林水産大臣政務官の在職中は、農村整備などの関連分野をはじめ皆様方には大変お世話になりました。この場を借りまして改めて心より感謝申し上げます。

貴社の皆様は、我が国産業の発展基盤や国民の生活基盤となる建築物や土木工作物の設計に必要な不可欠な地形や地質に関する情報を提供し、特に土木工事については設計業務そのものに従事されておられますが、それらの建築物や土木工作物が適切に機能し、自然災害等にも強靱に生き残るための要の技術を支えておられます。

科学技術の進歩に伴い建設工事の設計の世界でも ICT の活用も進んでおり、測量設計に関連する分野でも多くの新たな技術が登場・普及しています。貴社は、GNSS 測量や、TS 現況測量など先端技術を活かして、時代の変化に見事に対応されながら発展を続けられています。その進取の気風と、変わらぬ経営理念で今後とも地域の発展に貢献いただけますことを願ってやみません。

これからも、時代の一步先を見通しながら、貴社をはじめとした地域の皆様のビジネスチャンスを増やしていけるように取り組んでまいります。そして、地域の皆様の思いをより強く国政へと反映できますよう全力を尽くしてまいりますので、今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

本年が貴協会にとってなお一層の飛躍の年となりますことを心より祈念いたしまして、貴社創立 60 周年の祝辞とさせていただきます。



祝 辞

茨城県議会議員 加藤 明良

令和元年の時代の大きな節目の年に、共同測量株式会社が創立 60 周年という大きな節目を迎えられますことを心からお慶び申し上げますとともに、この度、その輝かしい足跡を綴る記念誌の発刊に際し重ねてお祝い申し上げます。

昭和 34 年から 60 年間という半世紀以上の長い道のりのなか、わが国の社会情勢や経済の状況の変化は大変目まぐるしい激動の時代であったと考えます。

戦後復興と高度経済成長、バブル経済の伸縮、長期デフレ経済や、公共事業予算の縮小など、また、東日本大震災、関東・東北豪雨災害をはじめとした自然災害など、昭和、平成の時代の幾多の荒波を乗り越えて、人を育て、技術を磨き、着実に安定的な成長を遂げられてまいりました。

活動の拠点である茨城県において、道路や河川、上下水道、橋梁や農村環境、公園整備など、地域の発展に大きく貢献され、住民の安心で安全な暮らしと街づくりを支えるさまざまなインフラの整備に取り組むとともに、災害復旧活動や国土の強靱化など、県民の生命と財産を守るための活動に大きなお力を発揮していただきました。

そこには、創業当時から変わらぬ経営理念のもとで培ってきた、優れた企画立案能力と卓越した確かな技術力により、素晴らしいサービスのご提供をいただいてまいりました。

また、会社の運営によってもたらされる経済や雇用環境の向上などの様々な効果や、日頃から地域において献身的に行ってこられた社会貢献活動によりまして、茨城県に与えていただきました多くのご支援に対し、あらためて深く敬意を表し心から感謝申し上げます。

これまでの 60 年もの長きに渡る企業繁栄の源は、まさに世の中の変化に応じて自ら変化し、環境適応に取り組んでこられた経営力と、人を育てる教育力、そして社員の皆さまの努力のたまものと拝察致します。

現代社会の環境変化もさらにめまぐるしく、ICT や IoT など、情報化やグローバル化の変化のスピードも増してきております。これからも常に時代の先を見つめ、技術革新や最新技術への取り組みなどにも対応し、未来に向かってすばらしい発展をされることと確信いたしております。

これからも吉原清寿社長を中心に、社員の皆さまが一致結束し、共同測量株式会社が 100 年企業に向けさらに飛躍し、大きく発展していただきますことを心から期待しますとともに、関係各位のますますのご健勝とご多幸を心から祈念致します。



祝 辞

水戸市長 高橋 靖

このたび、共同測量株式会社が創立 60 周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

貴社におかれましては、昭和 34 年に創設されて以来、昭和、平成、そして令和の時代へと測量業務に精励され、豊富な経験をもって高品質なサービスを提供され、信頼と実績をつくりあげてこられました。これまで会社を發展させてこられた吉原代表取締役をはじめ歴代代表取締役のご労苦、そして社員の皆様のご努力に深く敬意を表する次第であります。

また、高い技術と誠実な姿勢をもって本市の公共事業の円滑な推進はもとより、行政運営全般にわたりご協力いただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

さらに、近年は、貴社を中心とする水戸市測量設計業協会に、子どもたちの就業意識の醸成や若者の地域雇用の促進を図ることを目的に、市内の小学生を対象とした測量実習を開催していただいております。人手不足や高齢化、さらには職人の技術力が重要視されている業界にあって、現職の測量士の皆様、体験を通して測量という仕事の役割を子どもたちに伝えていくことは、大変意義深いものであると考えております。

学校の勉強だけではなく、職業観というものを持つことによって、豊かな人間性を育むことのできる体験学習を重視しており、測量技術等を通じた体験学習は、非常に効果があるものと期待しております。吉原代表取締役を中心に測量業界の皆様が一丸となって教育・人材育成という面で社会貢献されていることは、誠に心強く、厚く御礼申し上げます。

さて、皆様におかれては、寸分違わぬ正確さを求めて測量技術を磨いてこられたことと思います。皆様の携わる測量業務は、行政や公共事業の基礎データとしてなくてはならないものであり、その成果は、国土強靱化、市民の安全安心の確保、さらには情報インフラとして広く社会に利用される大変重要なものです。近年では、GPS等の測量技術の急速な進歩に伴い、測量成果も紙地図からデジタル地図情報へと変化しており、地理情報システム(GIS)の官民を挙げた推進が図られております。今後も、社会情勢の変化や技術革新等により様々な取組を行う必要が生じることと思いますが、貴社の皆様ならば業界をより一層盛り上げてくださるものと確信しております。

道路、橋梁、下水道等の整備につきましては、人の命を守るという大事な役割を持っており、私たち行政は、公共事業を通してしっかりとその役目を果たしていかなければなりません。皆様におかれましては、創立 60 周年を契機といたしまして、さらに技術力を磨き上げていただき、これからも安心安全な地域づくり、ひいては国土強靱化にご貢献いただきますことを節に願っております。

結びに、共同測量株式会社がますますご發展されますこと、社員の皆様のご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げまして、お祝いのことばといたします。

創立60周年 記念式典 祝賀会

共同測量株式会社 創立 60 周年記念式典・祝賀会 式次第

とき 令和元年 6 月 26 日 (水) 午後 5 時

会場 三の丸ホテル 3 階 ジェンティール

オープニングスライド (共同測量株式会社 60 年の歩み)

開式の辞 (専務取締役 内野 正利)

式辞 (代表取締役 吉原 清寿)

来賓祝辞 衆議院議員 田所 嘉徳 様

参議院議員 岡田 広 様

参議院議員 上月 良祐 様

水戸市長 高橋 靖 様

来賓紹介

詩舞 「祝賀の詞」 平岡 昭虎

乾杯 茨城県議会議員 加藤 明良 様

祝電披露

祝宴

バンド演奏

万歳三唱 中村 國夫 様

閉式の辞 (常務取締役 檜山 和範)



▲受付



▲受付



▲オープニングスライド



▲式辞 代表取締役 吉原 清寿

▲開式の辞
専務取締役 内野 正利



▼祝辞



▲衆議院議員
田所 嘉徳 様



▲参議院議員
岡田 広 様



▲参議院議員
上月 良祐 様



▲水戸市長
高橋 靖 様



▲詩舞「祝賀の詞」 平岡昭虎（当社の元社員 平岡 紀彰様）



▲乾杯 茨城県議会議員
加藤 明良 様



▲来賓の方々



▲来賓の方々



▼バンド演奏



▲万歳三唱 中村 國夫 様(右)



▲閉式の辞 常務取締役 檜山 和範



共同測量

創立60周年盛大に祝う



加藤県議会議員の音頭で乾杯した



吉原代表取締役



田所衆議院議員

100年企業へ一層精進

測量業務通じ社会貢献

30周年記念式典・
共同測量株式会社



60周年を祝い、演舞が披露された



高橋水戸市長



上月参議院議員



岡田参議院議員

共同測量(水戸市、吉原)代表取締役は、創立60周年を迎え、6月26日に水戸市の三の丸ホテルで記念式典および祝賀会を開催した。来賓として、加藤県議会議員や関係者など約60人が参集し、節目の年を盛大に祝った。

同社は1959年6月26日に共同測量社として創業。初代社長は小林義治氏。測量・調査・設計などの業務を通じ、地域社会の発展に貢献している。高橋水戸市長は、「企業の技術力、誠実さを積み重ねてきた成果に、冒頭に記念ビデオが流され、同社の60年間の歩みが紹介された。吉原代表取締役は「60年の歴史の中には、幾多の苦難があった。各協会や関係者の協力のおかげでそれらを乗り越え、きょうがある」と感謝を述べ、「100年企業を目指して一層精進していく」と抱負を述べた。来賓の田所衆議院議員は「今後も社会での役割を果たし、業界の発展にも貢献していきたい」と述べた。岡田参議院議員は「これからの10年が重要になってくる。太陽のように光り輝くような存在として、地域社会に貢献してほしい」と述べた。上月参議院議員は「地域を支える会社として、社員とともにチャレンジを続け、さらに発展してほしい」と話した。

「企業の技術力、誠実さを積み重ねてきた成果に、冒頭に記念ビデオが流され、同社の60年間の歩みが紹介された。吉原代表取締役は「60年の歴史の中には、幾多の苦難があった。各協会や関係者の協力のおかげでそれらを乗り越え、きょうがある」と感謝を述べ、「100年企業を目指して一層精進していく」と抱負を述べた。来賓の田所衆議院議員は「今後も社会での役割を果たし、業界の発展にも貢献していきたい」と述べた。岡田参議院議員は「これからの10年が重要になってくる。太陽のように光り輝くような存在として、地域社会に貢献してほしい」と述べた。上月参議院議員は「地域を支える会社として、社員とともにチャレンジを続け、さらに発展してほしい」と話した。

『提供：日本工業経済新聞社水戸支局』 <http://www.nikoukei.co.jp>

情報ファイル



■共同測量60周年祝う
測量設計の共同測量(水戸市千波町、吉原清寿社長)の創業60周年記念式典が6月26日、水戸市内のホテルで行われ、社員や協力企業関係者らが参集し、式典で吉原社長は「60年という歴史の中にはいくつかの試練があった。低迷期の苦しさやつらさを味わい乗り越えて今の共同測量がある。100年企業を目指して精進していきたい」とあいさつした。写真。

『2019年7月2日付 茨城新聞』

創立60周年 記念旅行

ベストシーズン北海道 【登別・定山溪 3日間】

日程 2019年7月5日(金)～7月7日(日)
2泊3日

1	7/5 (金)	茨城空港 8:35	SKY791 →	新千歳空港 10:00 10:40	支笏湖(健康ビュフェの昼食) 11:30-12:30	*洞爺湖観光 13:40-14:00	昭和新山 14:20-15:00
		オロフレ峠 16:00	登別地獄谷 16:20	登別温泉(泊) 16:30			
2	7/6 (土)	ホテル 8:00		富良野観光(ジンギスカンの昼食) 11:00-13:00	大倉山シャングゼ 15:00-15:50		
		札幌市内観光(道庁、時計台、大通公園) 16:10-17:30		定山溪温泉(泊) 18:30			
3	7/7 (日)	ホテル 8:00		余市(ニッカウイスキー工場見学) 9:30-11:00	小樽市内観光(運河、北ーガラス、海鮮御膳の昼食) 12:00-13:00		
		ノーザンホースパーク 16:00-17:15	SKY794 →	新千歳空港 18:00-17:15	茨城空港 18:40		



▲昭和新山



▲札幌時計台



▲洞爺湖

小樽運河▼



▲富良野ラベンダー畑

年 譜

和暦 (西暦)	当社の出来事	国内外の出来事
昭和 34 年 (1959)	6.26 有限会社共同測量社を設立、創業者小林義治（水戸市裏南町 370 番地） 8.11 本社を移転（水戸市大坂町 286 番地）	・皇太子明仁親王が正田美智子さまとご結婚
昭和 37 年 (1962)	11.15 測量業者登録（第（1）－508 号）	・首都高速道路が開業
昭和 38 年 (1963)	8.1 全国測量業協会へ入会 10.15 社屋新築により本社を移転（水戸市千波町 367 番地 7）	・名神高速道路が開業
昭和 41 年 (1966)	5.1 下館出張所を開設（下館市甲（末広町）291 番地）	・文化大革命（中国における社会主義化運動）
昭和 43 年 (1968)	6.30 増資により資本金 200 万円となる 12.20 増資により資本金 300 万円となる	・川端康成がノーベル文学賞を受賞 ・東名高速道路が開業
昭和 44 年 (1969)	5.1 下館出張所を移転（下館市甲（薬師町）76 番地） 6.26 創業 10 周年を迎える	・米国のアポロ 11 号が月面へ着陸
昭和 45 年 (1970)	6. 社員旅行で大阪万博を見学	・アジア初の日本万国博覧会（大阪万博） ・よど号ハイジャック事件（赤軍派）
昭和 46 年 (1971)	6.26 増資により資本金 600 万円となる 10. 取手市、北茨城市で路側 O D 調査を実施（建設省常陸工事事務所発注）	・第二次ベビーブーム到来（団塊ジュニア）
昭和 47 年 (1972)	12.4 増資により資本金 900 万円となる	・あさま山荘事件（日本赤軍） ・米国から沖縄が返還される
昭和 48 年 (1973)	6.26 創業 15 周年記念事業の一環として、社屋の西側に新社屋を建築（鉄骨・鉄筋コンクリート造、地下 1 階付 2 階建） 9.1 社内報創刊 10.1 土浦出張所を開設（土浦市小岩田（霞ヶ岡）1399 番地 3）	・第一次オイルショック（原油価格 4 倍へ値上げ） ・ドバイ日航機ハイジャック事件（日本赤軍）
昭和 49 年 (1974)	6.26 創業 15 周年を迎える 増資により資本金 1,200 万円となる 8. 御前山村（現常陸大宮市）地籍測量を受注（図解法） 10.31 増資により資本金 1,500 万円となる	・旧日本兵小野田寛郎氏がフィリピン山中で発見される ・三菱重工爆破事件（東アジア反日武装戦線）
昭和 50 年 (1975)	4. 本社社屋の警備設備の設置に伴い宿日直制度が廃止される 12. 自動製図機を初めて導入（東京コンピュータコントロールセンター社製） 12.20 増資により資本金 2,000 万円となる	・沖縄国際海洋博覧会（沖縄海洋博）
昭和 51 年 (1976)	5. 阿字ヶ浦において当社で初めて漂砂観測を実施（土木研究所発注）	・ロッキード事件（政財界を巻き込んだ国際的な贈収賄事件）
昭和 52 年 (1977)	10. 北茨城市において路側 O D 調査を実施（建設省常陸工事事務所発注）	・ダッカ日航機ハイジャック事件（日本赤軍）

和暦 (西暦)	当社の出来事	国内外の出来事
昭和 53 年 (1978)	8. 光波測距儀オートレンジャーを導入(米国 K + E 社製) 12. 美野里町(現小美玉市)地籍測量を受注(県内初の数値法)	・第二次オイルショック(イラン革命による原油生産の中断) ・新東京国際空港(成田国際空港)が開港
昭和 54 年 (1979)	6. 記憶装置付き光波測距儀ベクトロシステムを導入(米国 K + E 社製) 6.26 創業 20 周年を迎える。増資により資本金 2,500 万円となる 7.14 創業 20 周年記念事業として富士登山及びキャンプを実施 11.3 日本武道館で開催された第 12 回全国吟剣詩舞道大会において、東流一門として当社の吟詠部が出場 11.21 共同測量株式会社へ組織変更。増資により資本金 3,000 万円となる 12.1 下館出張所及び土浦出張所を統合し、学園出張所を開設(つくば市千現 2 丁目 4 番 5 号)	・スリーマイル島原子力発電所事故 ・第 5 回先進国首脳会議(東京サミット)
昭和 55 年 (1980)	10. 本社駐車場の拡張工事が竣工	・イラン・イラク戦争が勃発
昭和 56 年 (1981)	8. 台風 15 号により小貝川堤防が決壊し、災害復旧関連の調査・測量を実施	・米国スペースシャトル「コロンビア号」初飛行
昭和 57 年 (1982)	11.1 学園出張所の社屋増築竣工(鉄骨・鉄筋コンクリート造、3 階建)	・日本が世界初のコンパクトディスク(CD)を発売
昭和 58 年 (1983)	12.3 増資により資本金 4,000 万円となる	・東京ディズニーランドが開園 ・大韓航空機がソ連軍機に撃墜される
昭和 59 年 (1984)	12.12 補償コンサルタント業登録(補 59 第 48 号)	・夏の高校野球で取手二校が茨城県勢初の全国優勝
昭和 60 年 (1985)	7. 当社の関連会社(株)アクトの前身となる(株)民芸を設立	・科学の祭典「つくば EXPO85」が研究学園都市で開幕 ・日本航空ボーイング 747 型機が長野県御巢鷹山に墜落(死者 520 名)
昭和 61 年 (1986)	8. 光波測距儀(電子野帳付)及び電算システムを導入	・スペースシャトル・チャレンジャー号爆発(7 名全員死亡) ・ソ連チェルノブイリ原子力発電所事故
平成元年 (1989)	6.26 創業 30 周年を迎える。記念事業として初の海外旅行(香港・九龍)を実施	・昭和天皇が崩御され、新元号「平成」となる ・6 月 3 日が「測量の日」に制定される
平成 2 年 (1990)	4. 週休 2 日制(隔週)を試行 11. 学園出張所に自動製図機を導入	
平成 3 年 (1991)	7.30 本社社屋増改築竣工(敷地面積 2,647.99 m ² 、地下 1 階付 3 階建、鉄骨造、陸屋根、延床面積 1,377.44 m ²)	・湾岸戦争が勃発 ・長崎の雲仙普賢岳で火砕流(死者・行方不明者 43 名)
平成 4 年 (1992)	3.21 代表取締役小林義治の死去に伴い塙一郎が代表取締役就任	

和暦 (西暦)	当社の出来事		国内外の出来事
平成 5 年 (1993)	8.15	学園出張所の社屋増築及び敷地拡張工事が竣工（延床面積 208㎡、敷地面積 978㎡）	・日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）が開幕
平成 6 年 (1994)	6.26 7.	創業 35 周年を迎える。記念事業として海外旅行（韓国）を実施 (株)民芸から(株)アクトに社名変更	・松本サリン事件が発生（長野県松本市）
平成 8 年 (1996)	9.	GPS 測量機導入（4 台）	
平成 10 年 (1998)	6.	学園出張所を学園営業所に名称変更	・長野冬季オリンピック開幕
平成 11 年 (1999)	6.26	創業 40 周年を迎える。記念式典をいこいの村潤沼、記念事業として植樹や海外旅行（台湾）を実施	・東海村 JOC で臨界事故が発生
平成 12 年 (2000)	2. 12.1	創業 40 周年記念プレートを水戸市国際交流センターに設置 ISO9001 認証取得	・シドニーオリンピック開幕
平成 13 年 (2001)	10.26	代表取締役役堀一郎の退任に伴い原田紀道が代表取締役就任	・米国同時多発テロ発生（日本人 24 人を含む 3,000 人以上が死亡）
平成 16 年 (2004)	6.26 8.14	創業 45 周年を迎える。記念事業として海外旅行（韓国）を実施 増資により資本金 6,000 万円となる	・日朝首脳会談により日本人拉致被害者が帰国 ・アテネオリンピック開幕
平成 18 年 (2006)	10.1	県北営業所を開設（常陸太田市下高倉町）	・侍ジャパンが第 1 回ベースボールクラシック（WBC）で優勝
平成 19 年 (2007)	2.26 5.23	かすみがうら営業所を開設（かすみがうら市西成井） 建設コンサルタント業登録（建 19 第 7504 号）	・米国リーマンブラザーズの破綻による続発的な世界金融危機が発生（リーマンショック）
平成 20 年 (2008)	7.26	代表取締役原田紀道の死去に伴い吉原清寿が代表取締役就任	・洞爺湖サミット開催
平成 21 年 (2009)	6.26	創業 50 周年を迎える。記念式典及び祝賀会を開催	・裁判員制度はじまる
平成 22 年 (2010)	6.28 7.6	那珂営業所を開設（那珂市戸） 県北営業所を移転して常陸太田営業所に名称変更	・小惑星探査機「はやぶさ」が帰還 ・尖閣諸島中国漁船衝突事件（海上保安庁と中国漁船の衝突）
平成 23 年 (2011)	10.	東日本大震災により被災した本社外壁等の補修工事が完了	・東日本大震災（M9.0 死者・行方不明者 18,000 人超）
平成 26 年 (2014)	1.23 6.26	石岡営業所を開設（石岡市真家） 創業 55 周年を迎える。記念式典及び祝賀会を実施	・天野浩・赤崎勇・中村修二が青色 LED でノーベル物理学賞を受賞 ・消費税が 8% となる
平成 27 年 (2015)	4.1	社内報が通巻第 500 号に到達し、記念誌を発刊	・パリ同時多発テロ事件（イスラム国によるフランスでのテロ）
平成 31 年 (2019)	3.31 4.1 6.26	学園及び石岡営業所を閉設 笠間営業所を開設 創業 60 周年を迎える。記念式典及び祝賀会、旅行（北海道 2 泊 3 日）を実施	・今上天皇の譲位により平成が幕を閉じ、新元号「令和」となる

青雲会の行事あれこれ

当社には社員の親睦行事を取り仕切る「青雲会」がある。記録によれば青雲会は創業から 10 年が経った昭和 44 年に発足し、今日まで延々と存続されている。社員にとってかけがえのない交流の場であり、自己研鑽の場にもなっている。

半世紀の歴史を持つ青雲会は、社風と同様に社員の意向に対して寛大であることから、これまでに多彩な研修行事が生まれている。全員参加型である旅行・忘年会・詩吟・ボウリングなどのメイン行事をはじめ、愛好者同志が集う囲碁・将棋・スキー・ゴルフなどバラエティーに富んでいるが、数年で消滅したものあれば、今日まで継続されているものもある。

ただし、社内報発刊（昭和 48 年）以前に途絶えた行事に関しては、記録不足等によりその詳細が不明であるが、これらを含めて写真に残されているこれまでの研修行事を紹介する（順不同）。



研修行事名	継続期間
旅行	不明～継続中
忘年会	不明～継続中
囲碁	不明
将棋	不明
バトミントン	不明
水泳	不明
マラソン	不明
酒飲み	不明
登山	不明～昭和 51 年
釣り	不明～平成 4 年
野球	不明～平成 18 年
卓球	昭和 44 年～昭和 51 年
詩吟	昭和 44 年～平成 6 年
ボウリング	昭和 48 年～継続中
キャンプ	昭和 52 年～昭和 57 年
スキー	昭和 53 年～平成 12 年
フィールドアスレチック	昭和 54 年～昭和 55 年
書道	昭和 54 年～昭和 56 年
文化祭	昭和 54 年～平成 4 年
ソフトボール	昭和 55 年～平成 4 年 平成 19 年～継続中
ゴルフ	平成元年～継続中
フットサル	平成 8 年～平成 13 年
そば打ち	平成 18 年～平成 19 年



旅行：信州松本・上高地・奥飛騨温泉郷
(平成 30 年 6 月)



忘年会：国民宿舎つくばね
(昭和 54 年 12 月)



碁碁



バトミントン



水泳：湊沼



マラソン：千波湖



酒飲み



登山：筑波山



釣り：オアシス笠原（昭和 55 年 6 月）



卓球



詩吟：日本武道館（昭和 54 年 11 月）



キャンプ：青少年キャンプ村（昭和 55 年 7 月）



スキー：志賀高原スキー場（平成 3 年 1 月）



フィールドアスレチック：
南大洗アスレチック・フィールド（昭和 54 年 10 月）



ソフトボール



文化祭（昭和 59 年 11 月）



ゴルフ：浅見ゴルフ倶楽部中コース
（平成 28 年 10 月）

会社要覧

■事業所

□本社

〒310-0851 茨城県水戸市千波町 369 番地 1
TEL 029-241-6722 (代) FAX 029-241-4428
http://www.kyodosokuryo.co.jp e-mail:info@kyodosokuryo.co.jp

□常陸太田営業所

〒313-0352
茨城県常陸太田市久米町 1657 番地 1
TEL 0294-87-8701 FAX 0294-87-8702

□かすみがうら営業所

〒300-0122
茨城県かすみがうら市西成井 121 番地 23
TEL 029-840-8311 FAX 029-840-8338

□那珂営業所

〒311-0122
茨城県那珂市戸 2700 番地 1
TEL 029-270-6177 FAX 029-270-6178

□笠間営業所

〒309-1734
茨城県笠間市南友部 1539 番地
TEL 0296-71-7101 FAX 0296-71-7102

■創立

昭和 34 年 6 月 26 日

■業者登録

□測量業 第(15)-508 号
□建設コンサルタント 建 29 第 7504 号(上下水道部門・施工計画、施工設備及び積算部門)
□補償コンサルタント 補 30 第 48 号(土地調査・物件・事業損失)

■資本金

6,000 万円

■役員

代表取締役 吉原 清寿
専務取締役 内野 正利
常務取締役 佐藤 良彦、檜山 和範
取締役 三宅 一夫 生頭 英雄
監査役 小林 行治

■従業員数

30 名(技術系 25 名・事務系 5 名)

■有資格者

□技術士(上下水道)	2 名
□技術士(建設・総合監理)	1 名
□技術士(施工計画、施工設備及び積算部門)	1 名
□技術士補(下水道)	1 名
□技術士補(道路)	2 名
□RCCM(下水道)	1 名
□RCCM(道路)	2 名
□1級建築士	1 名
□測量士	18 名
□測量士補	1 名
□土地家屋調査士	1 名
□補償業務管理士	3 名
□土地区画整理士	1 名
□1級土木施工管理技士	3 名
□2級土木施工管理技士	1 名
□1級造園施工管理技士	2 名
□水質四種公害防止管理者	1 名
□地理空間情報技術専門基準点測量 1 級	3 名
□地理空間情報技術専門基準点測量 2 級	3 名
□水路測量技術 2 級(港湾)(沿岸)	1 名
□道路橋点検士	3 名
□河川点検士	1 名

■本社案内図



近年の主な受注業務

○測量業務

受注年月	発注者	業務名	履行場所	作業量
H29. 8	(国) 北関東防衛局	百里基地用地取得に係る測量・補償	小美玉市与沢	2.2ha
H29. 9	(国) 常陸河川国道事務所	国道 50 号バイパス用地調査等 (その 5)	筑西市玉戸	3.1ha
H29.12	(県) 常陸太田工事事務所	日立笠間線基準点測量	常陸太田市	5.4km
H30. 1	(県) 県央農林事務所	三原地区支線排水路路線測量	水戸市塩崎町	0.87km
H30. 3	(県) 鉾田工事事務所	水戸神栖線用地測量	行方市手賀	0.60km
H30. 3	(県) 常陸太田工事事務所	日立笠間線路線測量	常陸太田市	2.0km
H30. 5	大洗町	磯浜町Ⅱ地区地籍調査測量	磯浜町	0.37km ²
H30. 6	水戸市	千波公園西側拡張整備事業用地測量	千波町	1.26ha
H30. 6	(県) 県南農林事務所	城中支線用水路路線測量	つくばみらい市	1.58km
H30. 7	常陸太田市	市道 0133 号線用地測量	天下野町	0.6km
H30. 8	水戸市	笠原Ⅲ地区地籍調査測量	笠原町	0.15km ²
H30.10	水戸市	常澄 6-0002 号線路線測量	塩崎町	0.54km
H30.10	小美玉市	市道玉 767 号線路線測量	高崎外	350m
H30.12	(県) 茨城港湾事務所	茨城港大洗港区深浅 (港内) 測量	大洗町港中央	71.6km
H31. 1	(県) 境工事事務所	国道 354 号用地測量 (8 工区)	境町伏木	0.30km

○設計業務

受注年月	発注者	業務名	履行場所	作業量
H29. 6	(県) 鹿行水道事務所	東関東自動車道関連移設水道施設設計	行方市小幡	60m 他
H29.10	桜川市	鏡ヶ池公園基本計画策定	山口	1.0ha
H29.11	(県) 鉾田工事事務所	水戸神栖線道路詳細設計	行方市手賀	0.60km
H30. 2	(県) 常陸大宮土木事務所	法面詳細設計及び測量	常陸大宮市高倉	130m
H30. 3	(県) 常陸太田工事事務所	平沢橋箱型函渠詳細設計	常陸太田市 上高倉	1 箇所
H30. 3	(県) 竜ヶ崎工事事務所	野田牛久線交差点詳細設計	守谷市野木崎	1 箇所
H30. 5	那珂市	中里地区管路施設実施設計	中里	570m
H30. 6	水戸市	幹線市道 21 号線自転車通行空間設計	見和 2 丁目	1.5km
H30. 8	東海村	村道舗装補修測量設計	村内一円	6.1km
H30. 8	(県) 水戸土木事務所	偕楽園公園・弘道館公園園内案内 サイン設計	水戸市常磐町外	1 式
H30.10	那珂市	中里地区配水管布設工事実施設計	中里	200m
H30.10	古河市	柳橋下大野線交差点詳細設計	柳橋	1 箇所
H30.11	(県) 水戸土木事務所	偕楽園公園 (もみじ谷) 園路広場設計	水戸市見川町	0.8ha
H30.11	(県) 常陸太田工事事務所	急傾斜指定地測量設計	常陸太田市 金井町	1 千 m ²
H30.12	水戸市	千波公園西の谷駐車場・園路実施設計	天王町	1.0ha

○補償業務

受注年月	発注者	業務名	履行場所	作業量
H29. 8	(県) 高萩工事事務所	鮎川停車場線物件移転補償調査その2	日立市鮎川町	1 棟他
H29. 8	(県) 境工事事務所	つくば古河線用地補償調査	古河市東山田	2 棟他
H29. 9	水戸市	上中妻 198 号線建物等調査算定	大塚町	2 戸
H29.12	(県) 常陸太田工事事務所	常陸太田大子線建物等補償調査	常陸太田市 下高倉	4 棟他
H30. 5	(県) 鹿行農林事務所	小山地区工事損害事後調査	鹿嶋市小山	3 棟
H30.11	(県) 常陸大宮土木事務所	国道 118 号建物等調査	那珂市瓜連	1 棟他
H30.11	(県) 常陸大宮土木事務所	国道 245 号工事損失事前調査	東海村村松	5 棟
H30.11	つくば市	上大島地区外補償算定	上大島外	3 棟他
H30.12	(県) 稲敷土地改良事務所	本新地区工事損失事後調査	稲敷市本新	15 棟
H30.12	(県) 水戸土木事務所	大洗友部線用地補償調査	茨城町小鶴	3 棟他

○調査業務

受注年月	発注者	業務名	履行場所	作業量
H28. 9	(県) 水戸土木事務所	橋梁 (15m 未満) 定期点検	水戸市 河和田町外	29 橋
H28.10	東海村	村道路面損傷箇所調査	村内一円	122km
H29. 7	小美玉市	羽鳥東側冠水対策水路改修調査	羽鳥	860m
H29. 8	水戸市	保健所施設整備地質調査	見川町	38m
H29. 9	小美玉市	橋梁 (15m 以上) 定期点検 (2 工区)	旧美野里地区	39 橋
H29.10	(県) 潮来土木事務所	横断歩道橋定期点検 (その 2)	神栖市筒井外	6 橋
H29.12	(県) 土浦土木事務所	国道 125 号外横断歩道橋定期点検	土浦市大岩田外	6 橋
H30. 1	水戸市	橋梁定期点検 (その 2)	市内	11 橋
H31. 1	(県) 水戸土木事務所	偕楽園公園・弘道館公園利用者 アンケート調査	水戸市常磐町外	1.0 式
H31. 3	(県) 道路維持課	門型標識等定期点検	県内一円	45 基

○区画整理・情報処理業務等

受注年月	発注者	業務名	履行場所	作業量
H20. 6	水戸市	千波 BL 道路台帳データベース作成	千波 BL	34.4km
H20. 8	(県) つくばまちづくり	島名駅前広場線街区確定測量	つくば市島名	158 点
H21. 4	小美玉市	小川地区地籍データ構築	小川地区	1 式
H21.12	ひたちなか市西古内組合	西古内地区出来型確認測量	西古内	16.0 ha
H21.12	都市再生機構つくば	萱丸地区 B-3 工区外街区杭打ち測量	つくば市萱丸	252 点
H23. 3	(県) つくばまちづくり	島名・福田坪地区街区確定測量	つくば市島名	489 点
H23. 3	都市再生機構ゆめみの	下高井地区道路等引継図書作成	取手市下高井	4.2km
H23.12	ひたちなか市	佐和駅中央土地区画整理出来形確認測量	佐和	95.5ha
H30. 1	(県) 県央水道事務所	管路台帳作成	石岡市正上内	3.21km

編集後記

記念誌発行委員会 委員長 小林 好文

共同測量株式会社が、令和元年 6 月 26 日で創立 60 周年の節目を迎え、その記念事業の一環として記念誌を発行することとなりました。

昭和 34 年 6 月 26 日に誕生した当社ですが、諸先輩方の築いてきた礎、乗り越えてきた苦労などの足跡を振り返りながら、先日、記念式典及び祝賀会を無事執り行うことができました。ご臨席をいただいた方々や関係者の皆様に改めてお礼申し上げます。

記念事業委員会は、記念式典・記念旅行・記念誌発行の三本柱で構成され、共に昨年の 6 月にキックオフしました。それ以降、記念誌発行委員会は月に 1 回程度開催し、記念誌の構成をはじめ社歴や行事の組み立てのほか、膨大な写真の整理など、不慣れな作業の連続でしたが、他の委員会や社員の協力により発刊にこぎ着けました。

また、社員の懇親を図るため、記念旅行として 2 泊 3 日で 北海道を訪れ、初夏の大自然と歴史を満喫してまいりました。

60 年分の『人』という財産に支えられて、この日を迎えられた当社としましては、この先 70 年、80 年、さらには 100 年に向けた若手社員も育ってきております。これからも変わらぬご指導、ご鞭撻の程、宜しく願いいたします。

最後に、多くの皆様より祝辞のご寄稿をいただき、本誌をまとめることができました。深く感謝を申し上げ、編集後記といたします。

記念誌 発行委員会 名簿

委員会	氏 名	役 職
担当役員	佐藤 良彦	常務取締役営業部長
委員長	小林 好文	設計補償部設計課長
副委員長	清水 和典	設計補償部設計課長補佐
委員	佐藤 敏明	測量調査部測量調査課顧問



(令和元年 6 月 26 日撮影)

創立 60 周年記念誌

発行日 令和元年9月1日
発行所 共同測量株式会社
〒310-0851 茨城県水戸市千波町 369 - 1
TEL. 029 (241) 6722 (代表)
発行者 吉 原 清 寿
印刷所 (有)クリエイティブサンエイ
茨城県東茨城郡城里町石塚 1412 - 2
TEL. 029 (288) 7778



60 th Anniversary

www.kyodosokuryo.co.jp